

長寿科学振興財団 設立30周年記念シンポジウム (第2回)

明るく活力のある

長寿社会の実現に向けて

人生100年時代を語る

日時

2019年10月12日(土)
13時20分～16時00分

会場

名古屋マリオットアソシアホテル
16階 アイリス
〒450-6002 愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-4

定員

200名(先着順・参加無料)

講演者



中村 桂子氏
JT生命誌研究館 館長



田中 滋氏
埼玉県立大学 理事長



近藤 克則氏
千葉大学予防医学センター 教授
国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究センター
老年学評価研究部長



小出 宣昭氏
中日新聞社 顧問・主筆



祖父江 逸郎
長寿科学振興財団 理事長



大熊 由紀子
国際医療福祉大学大学院 教授

参加申込方法

原則として事前の申し込みが必要です。
参加をご希望の方は、①代表者氏名、②連絡先住所、
③参加人数を下記のいずれかの方法で(公財)長寿科学
振興財団事業推進課までお知らせください。

【郵便はがき】〒470-2101
愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山 1-1
あいち健康プラザ4F
【FAX】0562-84-5414
【E-mail】entry@tyojyu.or.jp
(件名: 記念シンポジウム)

申込期間

令和元年8月19日(月)から
10月4日(金)まで
(定員になり次第締め切ります)
*参加者には10月9日(水)までに
整理券を郵送します。

財団 HP



お問合せ

(公財)長寿科学振興財団 事業推進課
【電話】0562-84-5411

主催

公益財団法人 長寿科学振興財団

後援

内閣府・厚生労働省、愛知県、名古屋市、大府市、東浦町、(国研)国立長寿医療研究センター、
(公社)日本医師会、(公社)愛知県医師会、(一社)愛知県歯科医師会、(一社)愛知県薬剤師会、
名古屋大学、名古屋市立大学、愛知医科大学、藤田医科大学、日本福祉大学
(公財)健康・体力づくり事業財団、健康日本21推進全国連絡協議会、
(公財)愛知県健康づくり振興事業団、(社福)仁至会、中日新聞社

プログラム ～地域と密着した長寿社会へ～

- 13:00～ 開 場
- 13:20～13:30 開会式 主催者あいさつ (長寿科学振興財団)
- 13:30～13:50 設立 30 周年記念シンポジウム
講演①「38億年の生命誌の知に学び、生きやすい社会を」
シンポジスト 中村 桂子 氏 (JT 生命誌研究館 館長)
- 13:55～14:15 講演②「地域住民が主役となる地域包括ケアシステムの構築を」
シンポジスト 田中 滋 氏 (埼玉県立大学 理事長)
- 14:20～14:40 講演③「地域との関わりが高齢者の健康保持につながる」
シンポジスト 近藤 克則 氏 (千葉大学予防医学センター 教授)
(国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長)
- 14:45～15:05 講演④「長寿社会と長男長女時代」
シンポジスト 小出 宣昭 氏 (中日新聞社 顧問・主筆)
- 15:05～15:20 休 憩
- 15:20～16:00 パネルディスカッション「明るく活力のある長寿社会の実現に向けて～人生 100 年時代を語る～」
パネリスト: 中村 桂子 氏、田中 滋 氏、近藤 克則 氏、小出 宣昭 氏
座 長: 祖父江 逸郎 (長寿科学振興財団 理事長)、大熊 由紀子 (国際医療福祉大学大学院 教授)

中村 桂子 (なかむら けいこ)

JT 生命誌研究館館長

1936年東京生まれ。1964年東京大学大学院生物化学修了、1971年三菱化成生命科学研究所室長、早稲田大学教授、大阪大学教授を経て、2002年からJT生命誌研究館館長。

『科学者が人間であること』(岩波新書)、『小さき生きものたちの国で』(青土社)、『いのち愛づる生命誌』(藤原書店)、『「ふつうのおんなの子」のちから』(集英社)など著書多数。



田中 滋 (たなか しげる)

慶應義塾大学名誉教授・埼玉県立大学理事長

1971年慶應義塾大学商学部卒業、1977年米国ノースウエスタン大学経営大学院修士課程修了、1981年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、1993年同教授、2014年より同研究科のヘルスマネジメント・イノベーション寄附講座を拠点に名誉教授として教育・研究に従事。2018年より埼玉県立大学理事長。日本介護経営学会会長、日本ヘルスサポート学会理事長、社会保障審議会委員、同介護給付費分科会会長、医療介護総合確保促進会議議長、協会けんぽ運営委員長などを務める。



近藤 克則 (こんどう かつのり)

千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授

1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院リハビリテーション部医員、船橋二和(ふたわ)病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。2000年～2001年University of Kent at Canterbury (イギリス) 客員研究員、2003年日本福祉大学社会福祉学部教授を経て、2014年より千葉大学予防医学センター教授、2016年より国立長寿医療研究センター老年学評価研究部長(併任)。JAGES(日本老年学的評価研究)代表。『健康格差社会—何が心と健康を蝕むのか』(医学書院、2005)で社会政策学会賞(奨励賞)受賞。



小出 宣昭 (こいで のぶあき)

中日新聞社 顧問・主筆

1944年名古屋生まれ。1967年早稲田大学第一政経学部政治学科卒、中部日本新聞社(現在の中日新聞社)入社、主に社会部で遊軍、県政などを担当。1984年から1987年までロンドン特派員。その後、名古屋本社社会部長、岐阜総局長などを経て、1999年名古屋本社編集局長、2007年東京本社代表、2011年代表取締役社長、2017年より顧問・主筆。主な著書は『ニュースを食え』『続ニュースを食え』(中日新聞社)。



祖父江 逸郎 (そぶえ いつろう)

1921年名古屋生まれ、1943年名古屋帝国大学医学部卒業、1945年海軍軍医大尉、1954年米国南カリフォルニア大学留学神経学専攻、1975年名古屋大学医学部内科学教授、1976年名古屋大学医学部附属病院院長、1978年名古屋大学医学部長、1980年名古屋大学医学部附属病院院長、1984年国立療養所中部病院(現・国立長寿医療研究センター)院長、1991年愛知医科大学学長、2011年より公益財団法人長寿科学振興財団理事長。名古屋大学名誉教授、愛知医科大学名誉教授。勲二等旭日重光章。専攻は神経内科、内科学。



大熊 由紀子 (おおくま ゆきこ)

国際医療福祉大学大学院教授

東京大学教養学科で科学史・科学哲学を専攻。卒業後、朝日新聞社に入社し、社会部、科学部の記者、科学部次長などを経て、1984年同社で女性初の論説委員になり、医療、福祉、科学分野の社説を17年間担当。2001年から大阪大学大学院人間科学研究科教授(ソーシャルサービス論)、2004年より国際医療福祉大学大学院教授(医療福祉ジャーナリズム分野)。『「寝たきり老人」のいる国いない国』『恋するようにボランティアを～優しき挑戦者たち』(ぶどう社)、『物語・介護保険』(岩波書店)、『誇り・味方・居場所～私の社会保障論』(ライフサポート社)など著書多数。福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」のHP(<http://www.yuki-enishi.com/>)でも発信中。



* 申込時にいただく個人情報は本シンポジウムの運営管理にのみ使用し、他の目的では使用いたしません。

FAXでお申込みの方は、太枠内の必要事項を記入の上 0562-84-5414 まで送信して下さい。

申込期限 10月4日(金)必着

代表者氏名	連絡先住所	参加人数
	(〒 -)	
		名

[FAX] 0562-84-5414 番号はお間違えないようご注意ください。